

未来の天草を担う子どもたちからのメッセージ

私は今、牛深高校に通う高校2年生です。来年度は3年生となり、進路を決めてそれぞれの道に進むことになりました。近年、天草からは若者が減ってきてい



熊本県立牛深高等学校
2年 濱元伸乃介さん

ます。社会に出るにあたって、一度は外に出たほうがいいとよく言われますが、外に出て行ったまま地元に戻ってくる若者がとても少ないと感じています。そこで、私は天草市や議会に対して一つお願いがあります。天草の雇用を活性化させる政策を行ってほしいのです。簡単なことではないのかもしれませんが、若者が天草の外で就職する大きな理由として、地元での就職が

難しいことがあると思います。このまま天草から若者が減り続けると、町が衰退していき、どんどん活気がなくなっていくと思います。私自身、高校卒業後は進学するために一度は外に出るつもりですが、将来は必ず故郷である天草に戻り、暮らしていこうと考えています。これからの若者たち、そして天草市のためにも、ぜひ考えていただきたいと思っています。

現在天草は、高齢化が進んでいます。だから私たち若い世代が天草を盛り上げていく必要があると思います。私たちが河高生は熊大生と協力し、地元である



熊本県立河浦高等学校
2年 中山愛子さん

富津を盛り上げる活動や崎津教会のガイドボランティアを行い、地元の良さを発見、発信しています。天草に住んでいる私と同年代の人たちは、高校を卒業すると多くの人が天草を離れていきます。私は今後、天草に若い世代の人たちが残りたくなるような地域になってほしいと思います。しかし天草には都会のように雇用がたくさんないのも現状

です。だから、天草の自然の豊かさ、海産物のおいしさなど天草の魅力をいかした仕事が増えてほしいです。また、天草を離れたとしても帰ってきたくなくなるような場所であってほしいです。そのためには天草の良いところを残していくことが大切だと思います。これから天草の魅力を再発見し、自分の故郷に誇りを持って生活していきたいです。



天草市議会広報広聴委員会

益田 政昭	蓮池 良正	松江 雅輝	宮下幸一郎	濱洲 大心	委員長	柴田 誠	副委員長	平山 泰司	中尾 友二
-------	-------	-------	-------	-------	-----	------	------	-------	-------

蓮池 良正

編集後記
12月議会から議会改革の一環でタブレット端末が議員各位に貸与され、本会議場に大きなモニターが設置されました。議会の見える化が、一歩前進です。民主主義が機能するためには、二元代表制の双方(首長と議会)が役割を発揮するとともに、主役である市民の意見表明権が担保されることが大事です。まちづくり構想や計画に市民的パブリックコメントを呼応しましょう。市議会への意見等もお待ちしております。